

第 16 回全国高等学校選抜スピードスケート競技会

要 項

2025 年 11 月 21 日

1. 主 催 公益財団法人日本スケート連盟（以下、「本連盟」という）
2. 共 催 公益財団法人全国高等学校体育連盟（以下、「全国高体連」という）
帯広市 帯広市教育委員会
3. 後 援 スポーツ庁 北海道 北海道教育委員会 公益財団法人北海道スポーツ協会
北海道高等学校体育連盟 帯広市スポーツ協会 帯広商工会議所
一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団 一般社団法人帯広観光コンベンション協会
4. 主 管 一般財団法人北海道スケート連盟 公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部
北海道高等学校体育連盟スケート専門部（運営主管：帯広スケート連盟）
5. 会 場 明治北海道十勝オーバル（帯広の森屋内スピードスケート場）
北海道帯広市南町南 7 線 56 番地 7 帯広の森運動公園内 TEL:0155-49-4000
※競技会開催中に競技会場には本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。
6. 競技距離 女子 500m 1000m 1500m 3000m マスマスタートレース(10周)
男子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マスマスタートレース(10周)
7. 競技日程 2 月 20 日(金) 監督会議 12:30 (明治北海道十勝オーバル 2 階研修室)
公式練習 13:00-13:50、14:05-14:55、15:10-15:40
(開始 20 分後から 20 分間スタートトライアル、最終セッションのみ開始 10 分後から 20 分間実施)
2 月 21 日(土) 開場 8:00
公式練習 8:50-9:30
競技開始 10:00 ①男子 5000m ②女子 1500m ③男子 1500m ④女子 500m
⑤男子 500m
公式練習 競技終了後 30 分間
2 月 22 日(日) 開場 8:00
公式練習 8:50-9:30
競技開始 10:00 ①女子 3000m ②男子 3000m ③女子 1000m ④男子 1000m
⑤女子マスマスタートレース ⑥男子マスマスタートレース
※競技日程は、参加者数により変更する場合がある。
8. 競技方法
 - (1) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟(以下、「ISU」という)規則、本連盟競技規則並びに全国高体連スケート専門部規定に従って実施する距離別競技会とする。
 - (2) トラックは標準 400m ダブルトラック C タイプとする。ただし、マスマスタートレース(以下、「MSR」という)ではアップレーンを含む全面を使用する。
 - (3) 1000m 以上の距離はカルテットスタート競技方法を採用することができる。
 - (4) 各距離(MSR を除く)の組合せ及び滑走順は以下のとおりとする。以下に定めのない事項については ISU 規則第 239 条 2 項に従う。
 - ① 各距離における前年度記録(2025 年 3 月 31 日現在の高地リンクを除く)及び本競技会参加申込締切日以前に終了した公式競技会の記録のよい方の記録によって順位付ける。同タイムの場合は抽選による。
 - ② 両方にタイムのない者は、上記①の最下位に続けて、抽選により順位付ける。
 - ③ 各距離 (MSR を除く)において同時に滑走する競技者は、上記①によって編成されたランキングの上位の競技者から 2 名ずつ組み合わせ、スタートレーンは上位の者をインレーンとする。
 - ④ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。
 - ⑤ 組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU 規則第 245 条 1 項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。
 - (5) 最終順位は、ISU 規則第 265 条、第 268 条、及び第 275 条に従って決定する。
 - (6) MSR の競技方法は ISU 規則第 257 条に従い安全対策として、ヘルメット(ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛当て、手袋(革製またはカットレジスタンス素材のもの)、ネックプロテクション、アンクルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レ

ーシングスースはカットレジスタンスであることが望ましい。

参加競技者は 1 校 2 名以内で 30 名を上限とし、並び順は抽選で行いスタートは横 1 列 6 人で配置する。エントリー数が 30 名を超えた場合は、本年度 1500m タイムランク(2026 年 1 月 21 日現在)上位の者から出場を認める。この場合、詳細は全国高等学校体育連盟スケート専門部及び、本競技会実行委員会で決定し監督会議で報告する。なお、監督会議後に棄権者が出了した場合、出場者の繰上げは行わない。

2 回の中間スプリントと最終スプリントを設定する。最終順位は中間と最終のスプリント合計により、続いてフィニッシュ順に従って決定する。以下、ISU 規則第 265 条 6 項を適用する。

9. 表 彰 各距離(MSR を含む)とも 1 位から 3 位までの者にメダル及び賞状を、4 位から 6 位の者に賞状を授与する。

10. 参加資格

- (1) 学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であつて次の各号に該当する者。
 - ア) 都道府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒であつて、都道府県スケート連盟を通じて本連盟に登録している者。
 - イ) 2008 年 4 月 2 日以降に生まれた者(特例として中国等帰国生徒については適用しない)とする。ただし、出場は 2 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
 - ウ) 同一学校であつても、全日制、定時制、通信制の課程はそれぞれ別のチームとする。
 - エ) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - オ) 転校後 6 ヶ月未満の生徒は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
 - カ) 出場する者はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (2) 引率者は、学校長が認める当該校の職員とする。ただし、やむを得ない事情により当該校の職員が引率できない場合は、部活動指導員や学校長が依頼した他校の職員が引率できるものとする。部活動指導員が引率する場合は、都道府県高等学校体育連盟に提出した届の写しを申込と同時に実行委員会に提出しなければならない。また、引率者は参加者のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (3) 監督・コーチは、当該学校長が認める指導者とする。ただし、部活動指導員と外部指導者の場合は、スポーツ安全保険等の賠償責任保険に必ず加入していることを条件とする。
- (4) 参加資格の特例
 - ア) 参加資格の年齢制限に定める生徒以外で大会参加基準を満たし、かつ所属都道府県高等学校体育連盟が推薦する生徒にあつては、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ) 参加資格の年齢制限のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技 2 回までとする。

《全国高等学校体育連盟大会参加の別途定める規定》

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。2 以下の条件を具備すること。<ol style="list-style-type: none">(1) 大会参加を認める条件<ol style="list-style-type: none">ア) (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。イ) 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校および各種学校にあつては、年齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。ウ) 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。エ) 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導の下に適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失していざ運営が適切であること。(2) 大会参加に際し守るべき条件<ol style="list-style-type: none">ア) 全国高等学校選抜スピードスケート競技会開催基準要項を遵守し、競技種目の大会申し合わせ等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。イ) 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて損害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。ウ) 大会参加に要する費用については、応分の負担をすること。 |
|--|

11. 出場制限

- (1) 男女とも 1 名 2 距離以内(MSR を除く)とする。MSR のみの出場は認めない。
- (2) 出場する者のはか、監督及びコーチは各 1 名以内とする。
- (3) 外国人留学生にあっては、1 校男女各 1 名以内とする。
- (4) 本連盟スピードスケートバッジテスト B 級(スピード、ショートを問わない)以上の資格取得者であること。
- (5) 参加資格の年齢制限により、学年制の場合は 2 年生以下とする。

12. 参加申込

- (1) 全国高等学校体育連盟スケート専門部ウェブサイト(<http://zenkokuskate.main.jp/>)から、参加申込書(様式-1・様式-2-F・様式-2-M)をダウンロードし、注意事項を熟読したうえ記載すること。
 - ア) 参加申込書は下記に郵送するとともに、学校名で電子データも併せて送信すること。
この場合、必要のないシート(記入上の注意など)は削除しないこと。
〒083-0003 北海道中川郡池田町清見ヶ丘 13 番地 北海道池田高等学校内
第 16 回全国高校選抜スピードスケート競技会実行委員会 宛
TEL : 015-572-2663
E-MAIL : ryo-yamazawa@hokkaido-c.ed.jp (北海道高体連スケート専門部十勝支部)
- イ) 前記の参加申込に加え、参加申込締切までに日本スケート連盟マイページの競技会参加申込サイト(以下、「申込サイト」という。)(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)でも参加申込みを行うこと。
- ウ) 参加申込に際して登録個人情報に PC メールアドレス、携帯メールアドレスの両方又はいずれかにアドレスが入力されていることを確認すること。いずれも入力されていない場合は、メールアドレスの変更から入力しておくこと。
- エ) 参加申込完了直後に参加申込者の登録されたメールアドレスに申込サイトから自動送信される参加申込受理の通知(以下、「受理通知」という。)を受けること。受理通知が送付されない場合は、システム問合せ先に問合せること。また、メールアドレスを登録していない者は、申込サイトで正常に申込みがなされたかを確認すること。受理通知は最初の代表者会議が終了するまで保管しておくこと。
- オ) 参加申込前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合は申込サイトで行うこと。この場合もイ) 同様に受理通知を受け取り保管すること。(申込サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)
- カ) 前記ア)、イ)それぞれの参加申込内容に相違があった場合は、前記ア)の参加申込書の内容により以降の処理を行うものとする。
- キ) 参加申込締め切り後に参加を取り消す場合は、必ず大会事務局へ棄権届出書を提出すること。

- (2) 参加申込料等の諸費用は、参加校申込責任者が、実行委員会の銀行口座に学校名で直接送金すること。振込手数料は申込者の負担とする。

ア) 参加申込料 1 名 1 距離につき 4,000 円 (MSR を除く)

イ) 振込先 金融機関：帯広信用金庫 東支店

口座番号：普通 0182322

名義：全国高等学校選抜スピードスケート競技会 実行委員会 委員長 細川 吉博(ホソカワ ヨシヒロ)

ウ) 参加申込料等の諸費用は、参加申込締切日の 2026 年 1 月 22 日 (木) までに振り込むこと。

- (3) 参加申込締切 **2026 年 1 月 21 日 (水) 正午** ※受付開始：2025 年 12 月 3 日 (水)

- (4) 参加申込締切後は、いかなる場合も納められた参加申込料は返還しない。ただし、本連盟又は全国高等学校体育連盟又は実行委員会が特に認めた場合はこの限りではない。

上記のただし書きに該当する者の振込手数料は主催者の負担とする。

- (5) 参加申込が遅延した者、又は参加申込が不完全な者(日本スケート連盟ウェブサイト競技会参加申込サイトで参加申込をしていない場合を含む)は本競技会への参加を認めない。

- (6) 参加申込にかかる個人情報は、個人情報の保護に関する法律・関連法令を遵守し、競技運営以外の目的には使用しない。

13. 宿泊 各校・各チームで手配すること。

14. その他の

- (1) 大会期間中の輸送は、公共の交通機関を利用するものとする。
- (2) 本競技会全日程中の事故等については、応急処置のみとし責任は負わない。
- (3) 本競技会の各距離(MSR を含む)6 位以内の者は、来年度の全日本選抜スピードスケート競技会の参加資格を得る。
- (4) 本連盟主催競技会への参加に際しては、各自でアームバンド (4 色) を用意すること。